

職場環境の充実が業績拡大につながる 快適なオフィスが大きな手応えを生む



厚生労働省の労働安全衛生法によると、「快適な職場環境の形成」は事業者の努めとされています。これを福利厚生と考えるか、企業の成長戦略と考えるか。実は、快適なオフィス空間を構築した企業のほとんどが業績面で大きな手応えを得ています。つまり、快適な職場環境の形成は、結果的に成長戦略につながっていると言えるでしょう。ではまず、法令で定められた労働安全衛生法とはどのようなものかを以下にピックアップしてみます。

「作業に従事することによる労働者の疲労を回復するための施設または設備の設置または整備」についての主な指針は以下の通り。

- ・疲労やストレスを効果的に癒すことができるように臥床できる設備を整えた休憩室等を確保すること。
- ・職場内に労働者向けの運動施設を設備するとともに、敷地内に緑地を設ける等の環境整備を行なうことが望ましいこと。

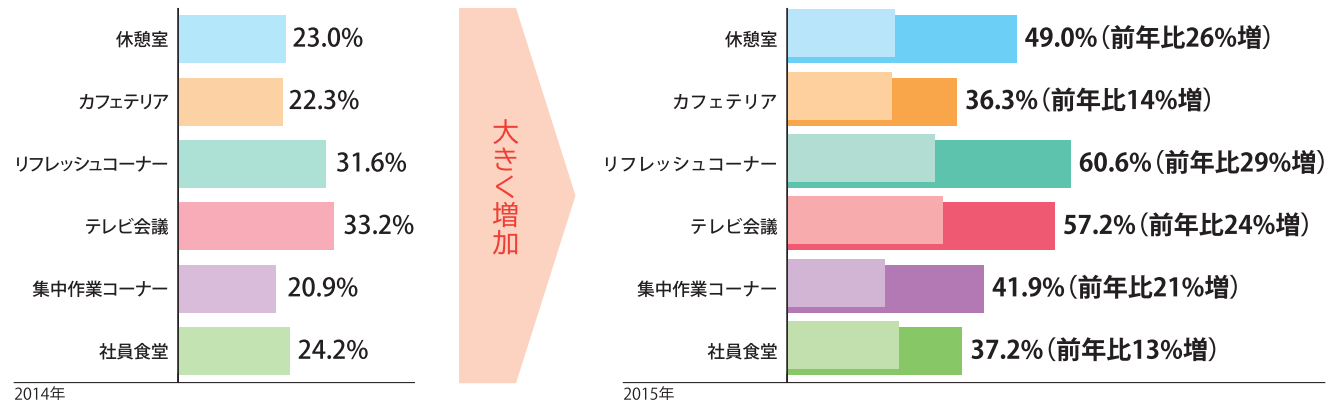
「事業者が構すべき快適な職場環境形成のための措置に関する指針」より

多くの企業で取り入れられているのは、リフレッシュスペースやカフェテリアといった生活支援スペースです（下記グラフ参照）。前年比を見ると導入事例が大きく増加していることが分かります。

ではなぜこれほど多くの企業が取り入れているのでしょうか。

その理由は、生活支援スペースで社員間のコミュニケーションが自然発生する効果があるからです。「偶然居合わせた社長に対して気軽に会話できる」「社内の人間関係が密になった」「社員同士が雑談することで、新しいアイデアが生まれた」など、大きな効果が出ています。今はオフィス内に美容院やATMを設置する企業もあります。この機会に業績アップを目的に、生活支援スペースを充実させませんか。

■ オフィスにあるスペース



出典：三井デザインテック「オフィスワーカー調査2015」

リサーチを実施して、課題や要望を抽出する企業が増えています。

移転の実現可否を**無料診断！**

スケジュール レイアウト コスト シミュレーションいたします

🔑? 組織の拡大で発生する課題はこれで解決！

リラックス&気持ちの切り替えは 従業員の満足度を高める

「オフィスパントリー」 「リフレッシュスペース」

こうしたスペースは、リラックスして心身ともに切り替える場であるとともに、そこは最高のコミュニケーションの場でもあります。雑談の中にラフにフィードバックを挟んだりもできます。また、リフレッシュしたときこそ、ぽっと新しいアイデアが浮かぶものではないでしょうか。



費用の目安
200万円～



ランチを通して コミュニケーションの促進を

「オフィスキッチン」「カフェテリア」

オフィス周辺に飲食店が少なく、ランチどきに選択肢がなくて苦勞するオフィスもあることでしょう。社員用キッチンやカフェテリアがあればそのストレスも軽減されます。また、社員同士のコミュニケーションも活発になり、『何を作っているの?』などと自然に会話が弾むはずです。



費用の目安
500万円～

「小スペースカフェ」

会社のほんの小さなスペースにカフェを設置することで人が集まるきっかけをつくり、そこにあるバラエティ溢れるメニューが“いい雑談”を生み出します。ふらっと立ち寄れて、自然な雑談が生まれる空間は、社員間の連携が強まり、業務効率の向上にもつながると評判です。



費用の目安
100万円～

喫煙スペースで しっかり分煙対策

「空間分煙室」

受動喫煙防止措置は事業者に課せられた努力義務です。喫煙室を備えたビルや企業もありますが、ビルの外部にある喫煙エリアを利用しているケースもあります。オフィス内に設置できる喫煙ブースとしては、扉で密閉しなくても臭いや煙が一切漏れないものや、景観を損ねないデザイン性に優れたものまで、喫煙者而非喫煙者が共存できる空間づくりが可能です。なお、受動喫煙防止対策として助成金制度も設けられていますのでご相談ください。



費用の目安
200万円～